

妙高版 DMO の妙高ツーリズムマネジメントと
5 省庁の後援で全国の観光自治体と観光促進を推進する「温泉総選挙」が連携
全国で先駆けて実施する「街ごとキャッシュレス企画」

ウィンターシーズンは約 100 万人
グリーンシーズンは約 160 万人の観光客で賑わう

妙高が「街ごとキャッシュレス化」を推進！

キャッシュレス対策とインバウンド対策を同時に実施し観光促進。

妙高における観光地経営の舵取り役である一般社団法人妙高ツーリズムマネジメント（本社：新潟県妙高市、会長：古川征夫）と 5 省庁（環境省、内閣府、総務省、経済産業省、観光庁）の後援で観光地の活性化プロジェクトを実施している温泉総選挙（主催：旅して日本プロジェクト）の運営事務局である株式会社ジャパンデザイン（本社：東京都渋谷区、温泉総選挙総合プロデューサー、代表取締役：社会起業家／山下太郎）更には、温泉総選挙の観光地活性化推進システムである 12 言語対応のキャッシュレスシステムを展開している puttmenu 株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：山本望）の 3 社が連携をして、妙高のあらゆる観光シーンにおいて街ごとキャッシュレス化を推進していきます。

現在、妙高版 DMO の「妙高ツーリズムマネジメント」では、観光事業者を始め様々な業種の皆様との連携により、街全体での観光活性化を図っており、また年々増えるインバウンド客へのキャッシュレス対策も大きな課題であります。

そこで、5 省庁の後援を受けて全国の観光自治体と一緒に観光促進を推進する「温泉総選挙」が認定する観光地活性化推進システムである「Putmenu®（ puttmenu ）」と連携を図り、妙高に訪れる国内外の観光客に対して、インバウンド対策とキャッシュレス対策を同時に実施し、観光シーンでの消費拡大を図ります。

具体的な導入先は、エリア内のスキー場やその周辺にある飲食店舗、道の駅、各宿泊施設、交通機関等を妙高ツーリズムマネジメントと連携し拡大してまいります。また、本施策を旅行者にアピールする為に、駅や宿泊施設等の街全体で告知を図り、国内外の観光客に対するサービスの向上を図り、観光客の消費を促します。

○観光地活性化推進システム「Putmenu®」について

・利用者のスマホを使って 12 言語対応で注文と支払いができるオーダーシステムです。訪日外国人の不満で常に挙げられる「多言語表示の少なさ」「コミュニケーションがとれない」「クレジットカード利用可能場所の少なさ」に対して本システムで「インバウンド対策また、本サービスの特徴であるキャッシュレス対策」両方の解決が可能になります。利用者には観光シーンのあらゆる商品の選択と支払いをスマホで行ない、待ち時間なく、商品の受取りができるようになる利便性も提供できます。

街の交通シーンでは、観光地周遊券を購入し、アプリ上で時限式チケットを表示することで利用者の利便性だけでなく、事業者のチケット発券を削減することが可能になります。スキー場ではリフト券、レンタル、各飲食店等、全ての消費に対して現金を持ち歩くことなく、行列に並ぶことない体験を提供します。街の旅館、飲食店では、訪日客の様々な疑問（商品内容、アレルギー、ハラル、ヴィーガン、決済方法）に対して全ての国の観光客に同一の情報を正確に提供できるようになります。スタッフも高度な言語スキルを必要としない大切なコミュニケーションを観光客と気軽に交わすことが可能になりま

す。お土産店では24時間注文を受け付けることが可能になり、お帰りの際にまとめて受け取れる利便を提供できます。すべての注文・決済はオンラインで行われるため、注文・お会計に関わる時間削減が可能になり、人時生産性が向上し慢性的な人手不足の対策にも効果を発揮します。

注文には、位置情報IoTセンサーを利用しており、利用者はその場所（観光地・施設・テーブル）に居ないとこれらの体験ができません。言い換えると、そこに居るからこそ受けられる「特別な体験」を提供することが可能になります。

位置情報はGPSを利用した広域からビーコンを使った空間、数センチ範囲の局所空間までの識別、コンテンツ出し分けが可能になり、これらの制御は日米中韓英仏独など世界9カ国で特許を取得済です。

Putmenu®を利用することでこれらのオーダー・消費体験と位置情報を組み合わせることができ、利用者の観光地での体験経路、消費傾向を把握することが可能になり、観光地DMOはこれらの情報をマーケティング活用し、更なる観光地活性化に活用することができます。

・本サービスは、Microsoft Azureで構成されており、Microsoft Innovation Award 2016ファイナリスト、Microsoftのスタートアップ支援プログラム「BizSpark Plus」に採択、(公財)東京都中小企業振興公社の事業可能性評価委員会の評価事業、2017年の経済産業省「IoTを活用した新ビジネス創出推進事業」に採用、MCPC award 2017で「総務大臣賞」を受賞、「AEON Financial Service Innovation 2017」で「最優秀賞」を受賞しました。また「Tokyo Metro ACCELERATOR 2018」の最終審査通過企業に開発会社ボクシーズ株式会社（東京都千代田区）が選ばれました。

製品 URL : <https://putmenu.com/>

ダウンロード URL : <https://putmenu.com/qr/>

※IoTセンサーは、株式会社タグキャスト（東京都千代田区）が提供するTC-Beaconを利用しています。

※Microsoft、Azureは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

※その他記載の会社名・団体名・製品名およびサービス名は、それぞれの会社・団体の商標もしくは登録商標です。

■妙高ツーリズムマネジメントについて

名称 (一社)妙高ツーリズムマネジメント

所在地 新潟県妙高市大字田口309-1

電話 0255-86-2412

設立 平成30年4月1日

代表者 会長 古川征夫

業務内容 観光地経営

URL <http://www.myoko-note.jp>

■ puttメニュー会社概要

【名称】 puttメニュー株式会社

【本社】 東京都大田区西蒲田7-35-1 宝栄ビル

【設立】 2018年2月19日

【代表取締役】 山本 望

【資本金】 10,000千円

【業務内容】 オーダーシステム「Putmenu®」の販売

【URL】 <https://putmenu.com/>

■温泉総選挙について

「温泉総選挙 2018」は、環境省・内閣府・総務省・経済産業省・観光庁の後援による、温泉地の活性化推進を目的とした、全国民参加型の地域活性化プロジェクトです。

趣旨にご賛同いただいた全国の温泉地がその魅力をアピールするため、9つの部門から1部門を選択してエントリーいただいています。(2018年度の投票期間は終了)

「温泉総選挙 2018」を通じて、今まで十分に伝えきれていなかった温泉地の持つ様々な魅力はもちろん「旬」な取り組み・ネタを、より多くの方々に提供していきます。

「温泉総選挙 2018」概要

●主催：旅して日本プロジェクト

●後援：環境省・内閣府・総務省・経済産業省・観光庁

●実行委員会：(五十音順)

実行委員長：岡崎浩巳（地方公務員共済組合連合会 理事長／元総務省 事務次官）

実行委員：石井宏子（温泉ビューティー研究家／トラベルジャーナリスト）

甘露寺泰雄（公益財団法人中央温泉研究所 顧問）

笹本森雄（一般社団法人日本温泉協会 会長）

東京大学温泉サークル OKR（おける）

夏野剛（慶應義塾大学 政策・メディア研究所 特別招聘教授）

新津研一（一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会(JSTO)
専務理事/事務局長）

前田 眞治（一般社団法人日本温泉気候物理医学会 理事）

八木宏一郎（一般社団法人日本エンパワーメントコンソーシアム理事／
一般社団法人日本唐揚協会 専務理事）

●概要：「温泉総選挙 2018」は、2018年5月14日～2019年1月31日の選挙期間を設け、国民投票によって受賞温泉地を決定します。(2018年度の投票期間は終了)

9つの部門があり、それぞれの部門での順位を決定します。

【部門名】

■リフレッシュ部門 ■うる肌部門 ■健康増進部門 ■スポーツ・レジャー部門

■歴史・文化部門 ■絶景部門 ■外国人おもてなし部門 ■ファミリー部門

■女子旅部門

さらに、全温泉地の取組を評価する、特別賞や省庁賞（4賞）を選出します。

●スケジュール

2018年5月14日 「温泉総選挙 2018」公式WEBサイトオープン 投票受付開始

2019年1月31日 投票〆切、部門賞順位決定

2019年3月8日 表彰式開催

※その他詳細は公式WEBサイトをご覧ください※

「温泉総選挙 2018」公式WEBサイト

<https://onsen-ouen.jp/>

■取材のお申込は、下記問い合わせ先までお電話、FAXまたはメールでご連絡ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人妙高ツーリズムマネジメント

担当：早津（はやつ）、宇野（うの）

TEL：0255 - 86 - 2412 FAX：0255 - 86 - 3450

メール：

メールアドレスを記入して下さい！！